

令和7年度 たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和8年3月2日（月）午後2時00分～午後3時10分

場 所：たつの市役所新館4階災害対策本部兼大会議室

出席者：委員12名、事務局

傍聴者：なし

## 1 会議内容

(1) 委員・事務局紹介

(2) 議事

①行財政改革の取組と現状について

②行財政改革推進実施計画の具体的取組項目について

③令和8年度当初予算の概要について

<b>【協議事項①】</b> 行財政改革の取組と現状について（P 3～8）	
事務局より、取組状況等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	たつの市の職員分布図では51歳から55歳の割合が多く、今後5年10年で職員の入替が進むと思いますが、どの自治体でも人手不足で職員の確保が厳しい状況の中、たつの市ではどのように新たな職員を確保していこうとお考えですか。
事務局	50歳以上の割合が多い中、とりわけ技術職の新規採用が非常に厳しい状況です。最近では、本市にゆかりのある方を対象としたUターン枠を設けることや、採用年齢の引き上げ、各大学へ積極的に採用試験を案内し職員募集を掲示していただくなど、あの手この手で新規採用者を確保しようとしているところです。
委員	一部の自治体や民間企業等が実施している、就職氷河期世代を対象とした採用を重点的に進めるなどの取組はございますか。
事務局	本市では就職氷河期世代に限定した採用は実施しておりません。なお、令和5年度から定年延長制度がはじまり、制度を有効活用するとともに、会計年度任用職員は正規職員とほぼ同数程度おりますので、同制度をうまく活用しながら市民サービスが低下しないよう努めてまいりたいと考えております。
<b>【協議事項②】</b> 行財政改革推進実施計画の具体的取組項目について（P 9～25）	
事務局より、行財政改革推進実施計画の具体的取組項目における取組状況を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	人材育成について、職員の庁外研修は主にどういうところでされていますか。
事務局	庁外研修は主に播磨自治研修協議会や兵庫県自治研修所等の機関が実施する広域的な専門研修を様々な団体の皆さんと一緒に、姫路や神戸の会場等で受講しております。

委員	<p>公共施設の適正管理について、「たつの市公共建築物再編実施計画」では平成28年度から令和12年度までの公共施設の施設保有量の縮減目標を20%とありますが、現時点の実績はどの程度ですか。</p>
事務局	<p>令和7年4月時点で3.6%となります。補足ですが、庁舎や給食センター等の施設を更新したが故に本来縮減されるべき面積が増えた場合もありますので、なかなか予定通りには進んでいないというのが現実です。</p> <p>公共建築物の再編というのは、人口がピークのときに建設した公共施設が今後人口減少で使われない部分や余分な部分に対して、維持管理費がかかりますので、人口規模に見合った施設保有量にするため、取り潰しや統廃合を進めなさいという国の大きな考え方にに基づき進めています。本市のような市町合併の市町にとっては、例えば図書館や体育館を1個にしましょうとか、なかなか地元の意向等を踏まえると難しいところもあり、また、施設の耐用年数や利用者の距離的なこともありますので、なかなか理想通りに進んでいないというところです。</p>
委員	<p>ふるさと納税について、ポータルサイトを19社活用されているということですが、本市と同規模の自治体と比べ多いのか少ないのか、どのような状況ですか。他自治体では、自治体独自のポータルサイトを構築することで、ポータルサイトへの手数料を削減する努力もされていると目にしたことがあります。</p>
事務局	<p>ポータルサイトの登録数については、類似団体と比べましても同程度であると認識しております。自治体独自のポータルサイトの運用については、手数料の削減にはつながりますが、たつの市と検索いただかないと寄附者にはヒットしませんので、返礼品目当ての寄附者獲得にはつながりません。</p> <p>引き続き、ポータルサイトに掲載することで、全国からの寄附者獲得につなげてみたいと考えております。</p>
<p><b>【協議事項③】</b> 令和8年度当初予算の概要について（P26～39）</p>	
<p>事務局より、令和8年度当初予算の概要を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。</p>	
委員	<p>中心市街地複合施設整備について、次年度以降の計画等を含め分かる範囲でもう少し詳細に教えてください。</p>
事務局	<p>現在は基本計画の策定に向けたコンサルティング業者選定の準備を進めているところです。次年度中に業者を決定し、地元等の意見を踏まえながら計画を作成いくこととしております。その後の建築工事については、詳細まで把握できておりませんが、財源の確保や整備内容等を総合的に調整しながら年次的に進めていくような形になろうかと思えます。</p>
委員	<p>本竜野駅前では、民間のホテル建設計画も進み、本市の玄関口がどのような開発になるのか市民の方の関心も高いと思えますが、駅前に400坪ほどの民地があり、用地買収の交渉が非常に難しいと聞いております。</p> <p>行政や地元の話を踏まえると様々な制約もあろうかと思えます。しかしながら、可能な範囲を通り越して、無理をしてでもこの土地を確保していただけたら、50年100年先を見据えた駅前開発になるのではないかと思います。改めてこの場でお話ししたいと思えます。</p>

事務局	<p>ご希望といたしますか、理想の話は賜りましたので、担当課へお伝えさせていただきます。これから計画全体を検討するなかで、必要性なり等々も含めた考え方が出てくるものと思いますので、計画の進捗次第かと思います。</p>
委員	<p>複合施設の整備全体には、何億というよりも多少増える予算が必要になるのではと思いますが、この用地買収に要する土地評価の差（費用）が整備全体の予算に対し、低い割合であるならば、様々な角度で考えていただき、何としてもこの土地は確保していただきたいと思います。</p> <p>この民地を確保し東側と繋がることで、大きな構想にもなります。駅前東側では600メートルの道路ができたことで、ものすごい開発が進み、近隣が非常に開発に対して積極的になりました。そのことから、民地の地権者の方には非常にご無理を言うことにもなろうかと思いますが、地域のため、市のためとなることを大前提とするならば何としても頑張りたいと思います。これは、小宅地区連合自治会の各会長の強い思いでもあり、意見として出ております。地元の自治会等もお役に立つようであれば、行政と一緒に話を進めていけたらと思っております。皆さん方の応援もよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>